

平成 30 年 2 月 7 日

福島県内外の中高生との原子力災害および復興等に関する交流事業

本学教員 岡田努教授（総合教育研究センター）の研究のひとつ「小中高校大学をつなぐ放射線教育」の一環で、県内外の生徒の交流事業を行います。

福島の復興や放射線教育を学ぶ京都の中学生(4名)が安達高等学校自然科学部を訪問し、昨年11月のサイエンスアゴラ2017(アゴラ賞受賞)後の取り組みについて意見交換を実施、さらに原発被災地である本県浜通りや飯舘村等を視察する予定です。生徒たちの素朴な疑問やこれまでの活動から放射線教育や復興教育で見落とししている課題を探ります。派手な復興支援事業は目立ちますが、地道に学び、交流を深めているケースは少ないと思います。是非とも多くの県民の皆様に周知していただければ幸いです。

1. 県内外の生徒の交流について

本学、岡田教授が研究代表者を務める科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究(C)（課題番号 16K01005）「小中高大学を結ぶ被災地福島の新たな放射線教育プログラム構築のための基礎的研究」では、震災後の放射線教育の課題を小学校から中・高・大学にいたるそれぞれの課題に関して学校現場で抱える課題について調査しております。最近では県外で科学リテラシーや放射線教育を学ぶ生徒・教員らの協力を得て、本県の実態の理解を得られるよう、県内外の生徒や教員の交流の機会を設けております。

2. 県内外の生徒の交流事業について なぜ京都の中学生か

今回、本県を訪れるのは京都教育大学附属京都小中学校 8 年生（中学 2 年生）4 名と教員 1 名（野ヶ山康弘教諭）です。

2011～2015

野ヶ山教諭，震災後の福島へ。放射線教育について岡田教授と交流開始

2015～現在

岡田教授 京都教育大学附属京都小中学校で出前講座（毎年 6 コマ程度）

安達高校放射線教育授業（2014～）福島県内小中学校（教員支援）

野ヶ山氏を通じて京都の中学生の学習成果を本県へ発信（安積黎明高等学校・安達高校・富岡第一中学校など）

2017 年

野ヶ山教諭，安達高校生へ出前授業。**京都の中学生の取り組み，福島への応援メッセージを届ける。** **高校生から一定の評価を得るものの酷評「本当にわかっているの」「そんなので復興できていると思っているの」**

中学生がショックを受けるが... もう一度福島の問題に取り組む

11 月 25 日 サイエンスアゴラ 2017 で中高生の取り組みや認識の違いを超えて福島

興について協同で発表。「サイエンスアゴラ賞」受賞

2018年2月10～11日 京都の中学生が安達高校を訪問。その後の取り組みについて発表。意見交換等の交流。浜通り，国道6号線沿いおよび飯舘村の視察（車内から）

3. スケジュール

< 2月10日(土) >

12:18 JR郡山駅到着 12:30～13:50 昼食・移動

14:00 安達高校到着

14:15～17:00 安達高校自然科学部の生徒との交流

サイエンスアゴラ 2017 の発表内容 その後の取り組みについて

18:00 宿舎へ移動 本日の活動の振り返り（野ヶ山・岡田）

< 2月11日(日) > ルートは調整中

7:30 ホテル出発

8:00 磐越自動車道郡山東 IC～磐城 JCT～常磐道いわき中央 IC

いわき市平から海岸線を北上 津波被害からの復興状況

9:30 頃 いわき市四倉町から国道6号線を北上

広野町～楢葉町～富岡町～大熊町～双葉町～浪江町～南相馬市

11:00 頃 南相馬市 道の駅 昼食 12:00 南相馬市出発 県道12号線

13:00 飯舘村視察 建設中の飯舘小中学校周辺 ～ 村役場 ～ 道の駅

14:50 福島駅到着 15:16 JR福島駅発



県内外の中高生らによる対話の様子



サイエンスアゴラ 2017 での一コマ



京都の中学生×福島の高校生

（お問い合わせ先）

総合教育研究センター教授 岡田努

電話：024-548-5242

メールアドレス：h006@ipc.fukushima-u.ac.jp